

I. 地域経済を活性化する産業の振興

施策展開に向けた主な課題・視点

スタートアップ企業への支援の必要性

[変化に柔軟に対応するスタートアップ企業の重要性の高まり]
 新たなビジネスを先取りする、機動性・柔軟性の高いスタートアップ企業が産業の成長・発展を促進

[スタートアップ企業を取り巻く厳しい経営環境]
 実績が乏しく、収益性の低いスタートアップ企業にとっては資金確保による経営基盤の安定が重要

産業面における新常態への対応

[コロナ禍後に需要が高まる成長産業の取り込み]
 医療・健康分野やDX関連分野、回復が待たれる航空機関連産業をはじめ次世代産業への対応

[新たな常態を見据えた新技術等への適応]
 非接触や自動化などデジタル技術を活用した業務や工程の変革はコロナ収束後も取り組むべき課題

中小事業者・商業者の事業継続

[売上減少による事業への影響]
 売上減少が続く状況においては、経営基盤の脆弱な中小事業者に対し継続的な下支えが必要

[新しい生活様式と両立した経済活動の確立]
 感染防止対策の実施により、効率低下やコスト増、サービス業では提供サービスの質低下に繋がる可能性

[感染拡大一定収束後の消費の回復の遅れ]
 個人消費は持ち直しの動きが続いているが、従前並みの水準に回復するかは不透明

令和3年度の施策展開（主な新規・拡充施策）

1 起業・創業の活性化

- (1) ひょうご神戸スタートアップ・エコシステム拠点の形成**
- ① **UNOPS GICと起業プラザひょうごの連携によるグローバル展開支援【新規】**
 UNOPSのGIC(グローバル・イノベーション・センター)が有するSDGsに関する課題・ニーズに対し、県内のスタートアップ企業や中小企業などが持つ技術・ノウハウを活用した、解決策となるビジネスモデルの構築を支援するなど、海外への展開も含めトータルにサポート
- [実施内容]
 SDGsビジネスへの機運醸成、ビジネスモデルの構築・成長支援、海外展開に向けた事業プレゼン機会の提供等
- [UNOPS GICと起業プラザひょうごの連携によるグローバル展開支援 事業の流れ]
- | | | | |
|--|---|--|--------------------------------------|
| SDGsビジネス普及啓発セミナー | ビジネスニーズ・課題の提示 | 事業構築・成長支援 | 成果発表・海外展開支援 |
| ・社会課題の分析、事業化に向けたトレーニング
・SDGsと自社ビジネスの組み合わせ講座 | ・UNOPSと連携した、SDGsに関する具体的なニーズの提示
・参加企業の募集・選考 | ・技術・製品の課題解決・ビジネスへの落とし込み支援
・市場分析・マーケティング戦略 | ・UNOPS関係機関、大企業等への成果発表
・海外展開に向けた支援 |
- ② **スタートアップ企業のPR、販路拡大の支援【新規】**
 スタートアップ企業がサービス・商品を金融機関等にPRする場を提供するとともに、販路開拓に向けた取組を支援
- ③ **若年期からの起業マインドの醸成【新規】**
 起業の裾野拡大を図るため、18歳以下の学生等が地域の課題解決に挑戦する体験プログラムを実施し、若者のアントレプレナーシップ(起業家精神)を醸成
- ④ **スタートアップによる新事業創出への支援【拡充】**
 新たな価値や市場を生み出すクリエイティブものづくりやビジネスの創出を促進するため、創業間もないスタートアップ企業が行う起業や研究開発に加え事業拡大を新たに支援

[起業プラザひょうご・3拠点の運営とUNOPSのGICとの連携]

- ・コワーキング施設「起業プラザひょうご」を神戸に、姫路と尼崎にエリア拠点を整備
- ・国内外のレベルの高いスタートアップが集積する国連機関・UNOPSのGICが併設し、製品・サービスの創出や販路拡大において相乗効果を発揮

区分	起業プラザひょうご	起業プラザひょうご尼崎	起業プラザひょうご姫路
開設時期	令和2年9月1日	令和2年7月29日	
場所	三井住友銀行神戸本部	尼崎市中小企業センター	大手前グレイズBLD. II
規模	774㎡	240㎡	280㎡
特色	SMBCとの官民連携「UNOPS GIC」併設	市コワーキング施設との一体運営 経営相談員による伴走型支援	若年層も含めた起業家育成 地元企業とのマッチング

- (2) 資金面でのスタートアップ支援**
- ① **新たな価値創造に向けたスタートアップへの資金支援**
 商品やサービス、ビジネスモデルの開発・実用化に向けた取組や、各種起業家支援事業の採択者など有望なビジネスプランを有し県内で起業する者に対して無利子・無担保・無保証貸付を実施
- ② **スタートアップ応援ファンドによる起業初期段階の資金需要への対応【新規】**
 初期段階で生じる資金需要に対して新ファンドによる投資等の仕組みにより支援を開始
- (3) 多様で柔軟な起業・創業の促進**
 多様な事業者(女性、若手(35歳未満)、ミドル(35~54歳)、シニア(55歳以上))による事業立ち上げや副業としての起業を支援
- (4) IT事業所の誘致と地域定着の促進**
- ① **県内へのIT事業所の誘致・定着への支援【拡充】**
 県内でのIT事業所開設を一層促進するとともに、地域課題の解決に資する研究開発・実証実験を支援するメニューを新たに設け、地域への定着を促進

2 次世代産業の育成とDXの推進

- (1) 成長産業の育成**
- [近未来産業育成プラットフォームのイメージ図]
-
- ① **近未来産業育成プラットフォームの整備【新規】**
 成長産業育成コンソーシアムをベースとしつつ、県内企業が国内外の大学・研究機関等と連携し、次世代産業の育成に取組むプラットフォームを構築。
- ② **成長産業育成コンソーシアムのステップアップ**
 ロボット・AI・IoTや航空・宇宙、健康・医療など、分野別コンソーシアム発のプロジェクトを展開し、マッチングイベントや展示会出展、市場調査を実施
- ③ **兵庫県最先端技術研究事業(COEプログラム)による支援【拡充】**
 幅広い分野の調査・研究を支援するとともに、複数事業者が連携して取り組む研究開発への採択枠の新設など、イノベーション創出支援を拡充
- ④ **ひょうごメタルベルトを中核とした金属新素材の開発・普及の推進**
 金属新素材研究センターを拠点として、ひょうごメタルベルトコンソーシアムを運営し、金属新素材製造、加工技術開発や技術移転を推進
- ⑤ **航空産業非破壊検査トレーニングセンターを活用した県内航空産業の育成**
 航空産業の競争力強化に向け、航空機部品メーカーに配置が必要な非破壊検査員を養成

I. 地域経済を活性化する産業の振興

- ⑥ ドローンの先行的利活用事業の実施
神戸市と連携し、行政分野に加え、民間分野での利活用促進に向けた実証実験を実施
[実施内容]・実用化に向けた検証：レベル3飛行(無人地帯での目視外飛行)、複数機体の同時飛行
・新たな利活用の可能性検証：物流、プラント点検、各種インフラ点検等の実証実験を実施

(2) 中小企業におけるDX導入の促進

- ① スマートものづくりセンター等によるデジタル技術の実装支援
スマートものづくりセンター神戸及び阪神、播磨、但馬の兵庫ものづくりセンター、新産業創造研究機構等にデジタル技術の実装に向けた相談窓口を設置するとともに、技術支援を実施
- ② 中小企業におけるDX実践と関連人材育成の推進
事業者の業務プロセスやビジネスモデルの見直しに向けたDX推進や関係専門人材の育成を支援するとともに、DXの実践にあたり県内企業が活用できるデジタルツール等を整備
- ③ DX実装や新製品・サービス開発に取り組む中小企業への資金支援
AI・IoTなど先端技術の導入や新しいニーズに対応する製品・サービスの開発を進める中小企業に対して資金貸付を実施

(3) 県内への企業誘致

- ① 産業立地条例等による産業立地の推進
産業の活性化と雇用創出を図るため、県内全域での産業立地を促進する支援施策を実施
[実施内容]・雇用や設備投資等への補助と法人事業税など税軽減措置の適用
・サプライチェーン強化・再構築に向けた県内回帰等の支援【新規】
- ② 兵庫情報ハイウェイ及び兵庫情報スーパーハイウェイを活用した県内への企業集積
県内に整備された兵庫情報ハイウェイと、東京まで延伸し高速大容量の通信環境を整備した兵庫情報スーパーハイウェイを活用し、企業立地を更に促進
- ③ 外国企業による一次進出の促進【拡充】
外国企業の初めての日本拠点設置(一次進出)が期待できる欧州や米国、中国への働きかけ等、県海外事務所を活用してプロモーションを実施
- ④ 外国・外資系企業の誘致
これまで県内進出が多い製造関連の企業に加え、フィンテックなど金融、AI・IoT関連のスタートアップ企業を新たなターゲットとして外国・外資系企業を神戸市と連携して誘致
- ⑤ 外資系企業とグローバル人材のマッチング支援
外資系企業におけるグローバル人材の確保につなげるため、県内の外資系企業と大学生等との交流を目的としたフォーラムを実施

3 中小企業・商店街への支援

(1) 中小企業の安定経営を支える金融支援

- ① 制度融資による中小企業の資金繰り支援
コロナ禍からの再起や新常态への対応に向け、事業展開融資や経営安定融資など制度融資により中小企業の資金繰りを支援。また、新型コロナウイルス感染症対応資金の利子補給を引き続き実施

(2) 中小企業の経営力強化と事業継続の円滑化

- ① 地域経済の活性化に向けた経営支援【新規】
コロナ禍により影響を受けた中小事業者に対し、相談窓口の拡充等により支援体制を強化
- ② 中小企業における円滑な事業承継の促進
神戸商工会議所と連携し設置する事業承継・引継ぎ支援センターにおいて、第三者承継を含む事業承継を行う事業者をワンストップで支援

【「事業継続支援事業」(R2年度実績)】

[ソリッドソニック株式会社(神戸市)]

難聴者向けの骨伝導イヤホンに不可欠な「振動子」の開発に成功した先代経営者は、高齢化に伴い事業承継を検討し、大手電機メーカーで経営戦略に携わってきた後継経営者に事業承継。

後継経営者は先代の技術を継承し、補助金を活用して試験販売会への出展や設備導入等を進めることで、早期の新商品立ち上げに向け取り組む予定。



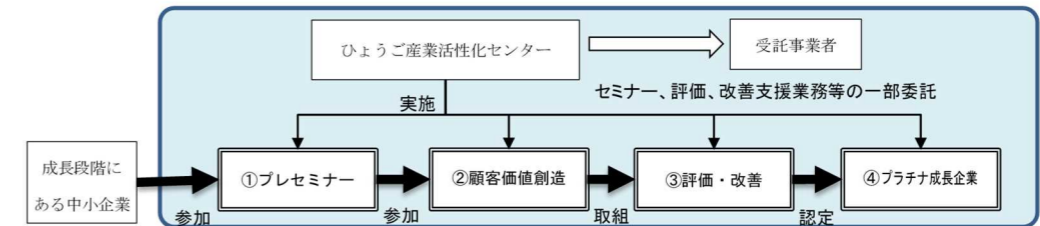
(写真：難聴者向け骨伝導イヤホン)

③ 「ひょうごプラチナ成長企業」の創出

成長段階にある中小企業の経営の安定化・高度化を計画段階から支援し、改善計画に基づき優れた成果をあげた企業を「ひょうごプラチナ成長企業」として認定するとともに、更なる成長を促進

[実施内容]・セミナーの開催(経営の安定化・経営革新の必要性、顧客価値創造の重要性等)
・企業の改善活動の実践支援

【「ひょうごプラチナ成長企業」創出事業のイメージ】



(3) ポストコロナ社会における海外展開への支援

① 中小企業の海外展開への支援【拡充】

中小企業の海外展開に向けた調査への助成に加え、サプライチェーンの多元化や越境EC等を活用した販路拡大など、ポストコロナに対応した生産・販売体制の構築を新たに支援

② ベトナム・ホーチミン市との経済連携プロジェクトの推進【拡充】

本県を含む関西とベトナム南部地域との広域的な経済連携も視野に、友好提携先であるホーチミン市との経済交流等を促進

[実施内容] 県・ホーチミン市経済促進会議の開催(相互開催)、兵庫/関西ベトナムビジネスアドバイザーを新たに設置

(4) 地場産業の振興

① 地場産業の海外展開への支援

ひょうご海外ビジネスセンター等と連携し、海外展開に向けた戦略策定から新製品・新技術開発等までをトータルで支援

[実施内容] ブランド戦略立案、海外向け新製品・新技術開発への支援

【「地場産業海外展開支援事業」R2年度実績】

区分	事業者名	事業計画
豊岡靴	株式会社由利	北米市場向け靴(ハックハック)の開発・販路拡大
清酒	大関株式会社	GI(地理的表示)を活用した新商品開発、豪州等向け販路拡大

② 地場産業のブランド力強化に向けた取組の促進

産地のブランド力向上を促進するため、新商品の開発や販路開拓、人材育成などを支援

(5) 商店街の活性化

① 商店街の賑わい創出支援

イベントの開催やライブ中継、SNSによる情報発信等により商店街の魅力をアピールすることで、コロナ禍における商店街への集客を促進

② 利用者本位の取組による商店街への集客・利用促進【新規】

商店街が実施する移動販売やご用聞き、宅配に加え、買い物送迎や高齢者の買い物サポート、商店街ECサイト(買物発注システム等)の整備など、買い物弱者対策や集客、利用促進に向けた商店街の取組を支援

【「商店街ファンづくり応援事業」(R1年度実績)】

フリーマーケットや夜市、コンサートや夏祭りなどイベント開催や、商店街をめぐるスタンプラリーやポイントカード事業、シボルマスコットの製作などを支援。

事業を実施した商店街へのアンケートでは、8割超のイベントで1,000人を超える来場者があり、4割超の商店街で事業実施後に来場者が増加



(写真：いいきき納涼祭(浜坂駅前通商店街))

Ⅱ. 産業を支える人材の確保・育成

施策展開に向けた主な課題・視点

コロナ禍の影響による雇用環境の悪化

[業績悪化等による企業の雇用意欲の減退]

需要減少や事業活動の停滞により、影響の大きい観光等の業種によっては解雇や雇い止め等が増加する恐れ

[雇用継続の困難化による失業者増加の恐れ]

今後の業績悪化や、現在は歯止めが掛かっている倒産が増加する場合には、失業者が増加する可能性

コロナ禍を経て変化する人材を取り巻く環境

[就労意識の変化による人材の流動性の高まり]

都市部での勤務の必要性の低下や、企業や産業を超えた働き方の普及により、人材の流動性は高まる傾向

[ポストコロナにおける人材需要への対応の必要性]

経済・社会動向の変化により、デジタル・IT関連等の知識・技術を有する専門人材の不足に拍車

感染拡大防止対策を契機に進む働き方の変化

[感染拡大防止に端を発したテレワークの急速な普及]

多くの企業に普及したテレワークは、働き方改革の推進や生産性の向上など、本来の効果を目的として定着

[テレワークの普及がもたらした働き方の変化]

時間と場所に制約が軽減され、副業・兼業やフリーランス、ワーケーションといった新たな働き方が進展

令和3年度の施策展開（主な新規・拡充施策）

1 情勢の変化に応じた雇用の下支え

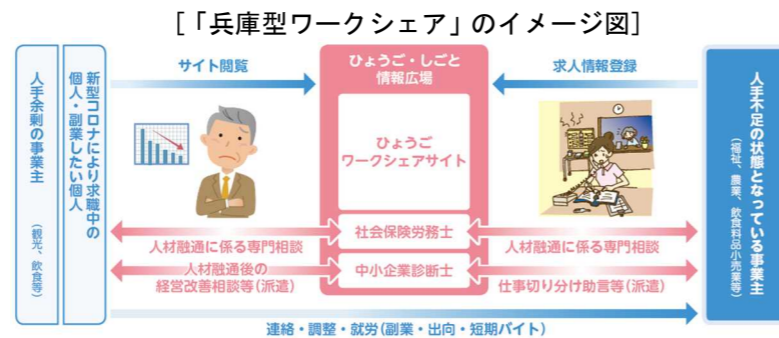
(1) 労働者の雇用確保

① 兵庫型ワークシェアの推進

一時的に人手余剰の事業主から人手不足の事業主へ期間限定で人材融通等を行うワークシェアを推進

② 新たな生活様式「ひょうごスタイル」に対応した多様な職業訓練の実施【拡充】

離職者の早期再就職を支援するため、テレワークなどコロナ禍後に普及した新しい働き方にも対応した職業訓練（委託訓練）を実施



区分	内容
情報インフラを支える人材の養成	ネットワーク構築、遠隔コミュニケーションソフト等開発を支えるエンジニアの養成等
テレワークに対応できる人材の供給	リモートシステムや情報セキュリティなどテレワークが必要となる知識・技能を有する人材の養成等

③ 新たな技能習得機会の提供【新規】

副業により収入の安定を希望する者やコロナ禍で休業を余儀なくされた労働者を対象に、人手不足の建設業界で特にニーズの高い資格技能（フォークリフト運転など）について、訓練を実施

2 地方回帰の機運を捉えた県内就業の促進、人材の確保・育成と新しい働き方の推進

(1) 若者や女性のUJIターン・県内就職の促進

① UJIターン就職の促進

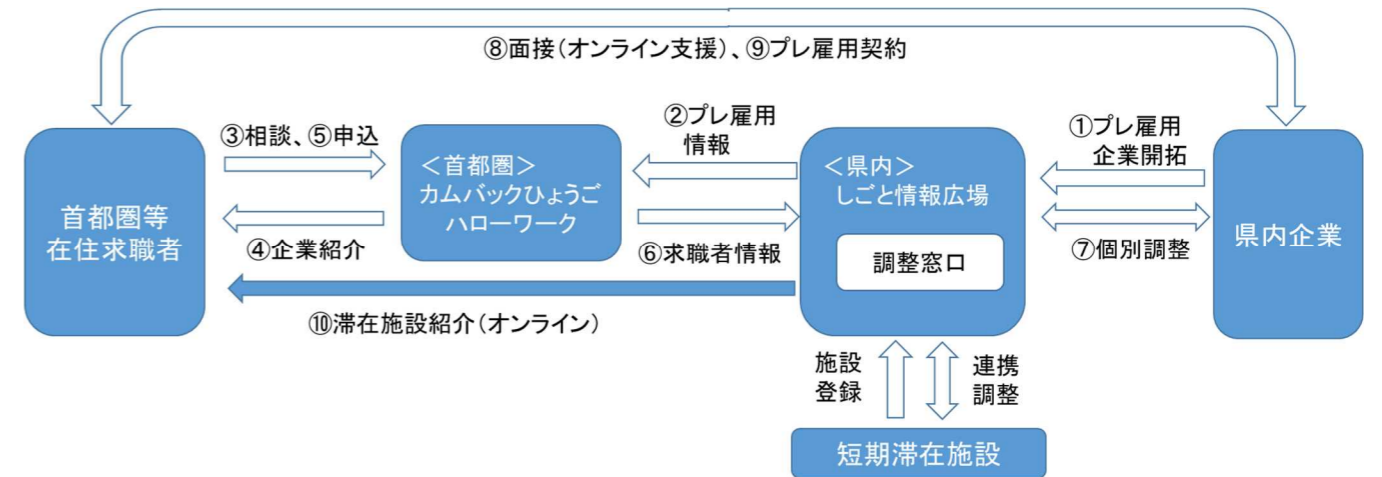
a カムバックひょうごハローワークの運営

県内就職の希望者に対し、就労相談・職業紹介を行うカムバックひょうごハローワークにおいて、県内でのプレ雇用実施企業の紹介を行うなど相談機能を強化

b 転職者を対象とした短期滞在と県内企業でのプレ雇用の斡旋【新規】

県有施設等の滞在先とプレ雇用をあわせて斡旋し、若年労働者による県内企業への就職・移住を促進

[「転職者向け兵庫型滞在支援付きプレ雇用事業」のイメージ図]



c 若者、女子学生等と県内企業とのマッチング支援【拡充】

- ・ 首都圏等からの就業・移住を促進するため、県内企業とのマッチングサイトにより、大学生や第二新卒者に対し県内企業の魅力や求人情報を提供するとともに、新たに企業と学生・求職者を結ぶ「就活WEBトーク」を開設
- ・ 首都圏の女子学生等と県内企業で活躍する女性社員等との交流会・ワークショップを対面及びオンラインで開催
- ・ 地元就職や県外からのUJIターン就職を促進するとともに、コロナ禍の影響による離職者や就職氷河期世代の就労機会創出に向け、合同企業説明会など県内企業とのマッチングの場を提供

② 高校・大学生の県内就職の促進

a ひょうご応援企業への就職支援

地元企業への就職希望者を積極的に採用する「ひょうご応援企業」について、企業紹介HPの運営による魅力発信や県内外学生とのWeb上での出会いの場の提供等によるマッチング支援を実施

【「大学生インターンシップ推進事業」等(R1年度実績)】

大学生等に県内中小企業の魅力を身近に伝えるため、企業で体験実習を行うインターンシップ事業を実施し、受入先企業64社に、94校578名の学生が参加。また、女子学生がキャリアプランを考えながら就職活動に取り組めるよう、学生主体の企業研究を行うとともに、その結果を発表するフォーラムを開催。



(写真：学生による企業訪問の様子)

b 大学生インターンシップの推進

西日本など他府県から県内大学に進学した学生をはじめ、大学生が県内中小企業の魅力を体感し、中小企業とのマッチングを促進するため、就職に繋がりやすいインターンシップの実施を支援

③ 女性と県内企業のマッチング支援

a 女子学生と企業のプレマッチング支援

女子学生が就職活動前から行う企業研究やキャリアプランニングを支援

[実施内容] 企業研究（企業訪問、ミーティングの実施）、研究発表会（フォーラム）の開催、個別キャリア面談の実施

[対象者] 就職活動を前にした学生（1～2年生）

II. 産業を支える人材の確保・育成

b ものづくり分野における女性の活躍機会の創出

人手不足の解消やダイバーシティ推進による競争力強化に向け、ものづくり企業への女性の就業を促進

[実施内容]・女性活躍ロールモデルの情報発信による“ものづくり”イメージアップ
・女性に多い文系人材が活躍できる業務の仕分けと女性活躍推進の取組支援

(2) ものづくり人材の育成

① オンラインによる技術支援体制の整備【新規】

県立工業技術センターでの相談データベースの開発や、研究員の予定と試験研究機器予約状況とのリンク設定等を行うことにより、オンラインでの技術相談や機器利用立ち会いを実施

② 若者のものづくりへの関心の喚起【拡充】

技能者の後継育成に繋げるため、小学生から高校生まで切れ間なくものづくりへの関心を高める機会を提供

[実施内容]・最先端機器を使用した熟練技能者の指導による職業体験
・ものづくり現場での技能者の仕事紹介、若手技能者との意見交換

(3) 多様な勤務形態、新しい働き方の定着促進

① ワーク・ライフ・バランスの推進

「ひょうご仕事と生活センター」及び支所(尼崎市、姫路市)を推進拠点として、普及啓発・情報発信、相談、研修企画・実施等に取り組み、多様で柔軟な働きやすい雇用就業環境を創出

② 県内企業におけるテレワークの導入促進

県内企業のテレワーク等導入促進のため、ICTに関する相談を引き続き実施

〔「ひょうご仕事と生活センター」によるワーク・ライフ・バランスの推進〕

「ひょうご仕事と生活センター」は令和元年度に開設10周年を迎えた。この間、ワーク・ライフ・バランスの取組を宣言した企業は2,218社、センターが一定レベルの取組を認定した企業は244社、特に優れた取組を表彰した企業は112社となり、推進企業は着実に拡大



(写真：ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰)

(4) ミドル・シニア世代の就労支援

① 世代に応じた就労相談窓口の設置

不安定就労者等の正規雇用化を促進するとともに、就労意欲のある人が、ライフスタイルや能力に応じて活躍できるよう、ミドル(40～64歳)、定年後のシニア(65歳～)など世代毎に対応した相談・マッチング支援窓口を設置

② ミドル・シニア世代への就労支援

区分	ミドル世代就労支援	シニア世代就労支援
対象者	・ミドル世代の求職者(40～64歳)	・シニア世代の求職者(65歳～)
内容	①レベルアップ就職プログラム ②企業とのマッチング会 ③インターンシップ	①インターンシップ ②職業紹介(短時間等) ③事業者への短時間しごとの切り出し支援

(5) 学卒未就職者等の就職支援

① 就労支援プログラムの実施

就職氷河期世代など学卒未就職等を期間雇用し、研修及び就職支援を組み合わせた人材育成プログラムを実施

[実施内容] 社会人基礎研修(1か月)、製造業などの県内企業での職場体験・就労支援(3か月)

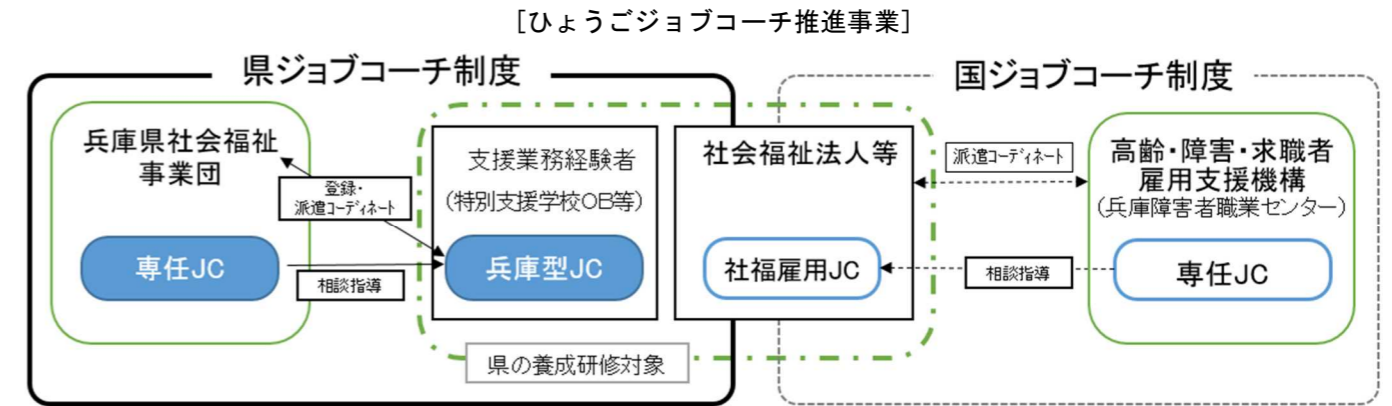
[対象者] 県内企業への就職を目指す、就職氷河期世代など学卒未就職者(50歳まで)

3 多様な主体の就労促進

(1) 障害者の就労促進

① ひょうごジョブコーチの養成・派遣

県独自のジョブコーチを養成・派遣し、障害者及び事業主に対し、個々の障害特性を踏まえた専門的な助言等を行い、就労・職場定着を支援



※ジョブコーチ(JC)

障害者が職場や業務に適応するために必要な支援や、事業主への助言を行う援助者

② 障害者雇用の拡大

中小企業に対し障害者雇用に関する指導や相談、啓発を行うとともに、フォーラムの開催や雇用・就労体験の機会を提供することで、円滑な雇用・就職を支援

③ 障害者の在宅就労の促進【拡充】

在宅で業務を請け負う障害者の受注・収入の安定に向け、在宅ワーク支援員等を配置して受発注をコーディネートする支援システムを運営するとともに、ひょうごジョブコーチによる障害者の在宅ワーク導入支援を実施

④ 障害者の職業能力開発への支援【拡充】

ビジネスマナーやパソコン講習など基礎的な訓練に加え、プログラミングやHP作成、簿記など専門的な技能を身につける訓練をe-ラーニングコースに追加

(2) 外国人労働者の受入拡大

① 県内企業における留学生採用の促進【拡充】

外国人留学生の県内就職を促進するため、県内企業とのマッチング及び留学生の日本語能力の向上等を支援

[実施内容]・留学生を対象とした企業説明会、インターンシップの実施

・ビジネス日本語の習得や就職活動支援に向けた講座の開催

・動画配信サイトによる就活情報の多言語での提供

② 外国人雇用HYOGOサポートデスクの運営

県内企業の適正な外国人雇用を支援するため、外国人受入に関する制度周知や相談対応を実施

[実施内容]・対面や電話による相談対応、社労士・行政書士等による専門的助言等

・法制度や先進事例、受入支援策等に関するセミナーの開催

Ⅲ. 国際化と観光振興による交流促進

施策展開に向けた主な課題・視点

変化する観光ニーズへの対応とコロナ禍後のツーリズムのあり方

[変化した観光ニーズ、新しい旅行形態の取り込み]

- ・「安全・近場・屋外」など旅行に求める価値が変化し観光ニーズは多様化する傾向
- ・テレワークの普及によるリケーション需要の増大、観光地の魅力のリモート体験など、新しい旅行形態への対応

[増加する国内観光客と今後回復するインバウンドへの対応]

県内住民及び県外観光客各々に応じた魅力創出と収束後のインバウンド再開に向けた受入環境の整備

コロナ禍を踏まえた観光産業の振興

[ポストコロナにおける観光産業のあり方]

- ・新しい生活様式への対応による効率性や新たなおもてなしのあり方を踏まえた経営継続モデルの確立
- ・高付加価値化や人手不足対策、顧客と直接繋がる新しい商習慣の確立による収益率アップ等の必要性

[感染症拡大対策と両立した継続的な需要喚起]

感染再拡大のリスク軽減にも配慮した、観光地への誘客回復を本格化させる需要喚起策の実施

地域における国際化の進展

[県内在住外国人の動向の変化]

外国人の居住地域は県内各地に亘り、出身国も世界各国に広がりを見せ、多言語化が進展

[県内経済における外国人材が担う役割の高まり]

外国・外資系企業の県内経済への影響の大きさ、外国人労働者への需要の高まりなど、外国人材は不可欠

令和3年度の施策展開（主な新規・拡充施策）

1 ポストコロナにおけるニューツーリズムの創出

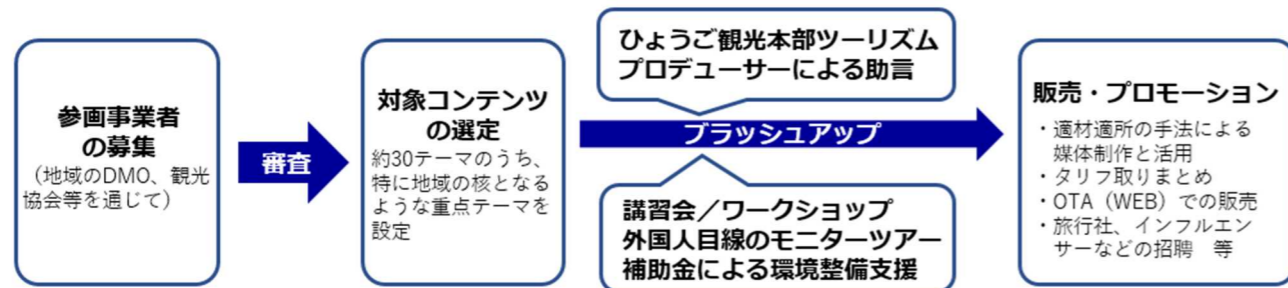
(1) 地域の魅力を活かした新たな国内観光モデルの創出

① 地域資源を活かした体験・周遊滞在型ツアーの造成【新規】

観光本部によるテーマに沿った地域資源の発掘・磨き上げへの支援を行い、体験・周遊滞在型ツアーを造成

[重点テーマ] 日本遺産、ワーケーション、御食国ひょうご、芸術・文化体験、スポーツ(サイクリング、ゴルフ、スキー)等

[地域資源を活かした体験・周遊滞在型ツアーの造成 イメージ図]



② 県内観光コンテンツの流通促進【新規】

国内外のOTA(オンライントラベルエージェント)や旅行会社を対象に、県内の観光コンテンツについてファミトリップ、商談会等を実施し、ツアー商品化を促進

③ 誘客・周遊の中核となりうる観光地独自の魅力づくりへの支援【新規】

観光客を呼び込み、地域を周遊する契機となるような、観光地独自の魅力づくりを支援
[取組例] 浴衣姿での外湯巡り、サイクリング、トレッキング等のスポーツ、街並を活かしたライトアップ等

④ 兵庫わくわく館・ふるさと館による地域の魅力発信

首都圏アンテナショップ「兵庫わくわく館」、県内特産品の振興施設「ひょうごふるさと館」を活用し、兵庫県の魅力を発信

(2) 交通事業者との連携による県内周遊の促進

① 鉄道事業者と連携した観光キャンペーンの展開【新規】

大阪・関西万博を見据え、本県への観光誘客を拡大するため、鉄道事業者と連携したツアー造成・プロモーション等の協働事業を展開

② 瀬戸内クルーズツアー造成の促進【新規】

大阪・神戸・姫路を起点に、明石・鳴門海峡を楽しむ瀬戸内クルーズと、食・文化体験を組み合わせたツアー商品の造成を促進

③ ローカルエアーで結ぶ地方観光のネットワーク化【新規】

ローカル to ローカルの旅行市場を活性化するため、神戸・伊丹・但馬空港を中核に、国内線就航先の観光DMOとの相互送客に向けたネットワークを構築し、共同プロモーション等を実施

(3) インバウンドの再開を見据えた誘客に向けた取組

① 外国人県民による兵庫の魅力発信【新規】

インバウンドの回復に備え、県内在住外国人県民(JET、留学生、外資系企業社員等)が、「Hyogo アンバサダー」として生活者の視点から兵庫の魅力を広く発信

② JNTO(日本政府観光局)を活用したインバウンドへの発信力強化

訪日リピーター客が多い台湾や香港等に向けて効果的な情報発信を行うため、日本観光の海外広報等を担うJNTOを活用し、ひょうご観光本部の情報発信力を向上

2 観光産業の振興に向けた基盤づくり

(1) 次世代の観光人材の育成

① 次世代を担う中核観光人材の養成【新規】

観光振興に関心のある県内大学生を対象に、観光事業体験や専門講師によるオンラインセミナーを開催し、将来の観光産業を担う中核人材を養成

② 着地型観光ガイドの育成【新規】

県内の通訳案内士等に対し、日本遺産をはじめとした観光コンテンツを実地で学ぶ研修を実施することにより、ひょうご五国の魅力に精通した観光ガイドを養成

③ 観光人材の確保

観光産業のやりがいや魅力の情報発信を行い、イメージアップを図るとともに、就職フォーラムへの合同参加やインターンシップ等を推進

3 多文化共生社会の推進

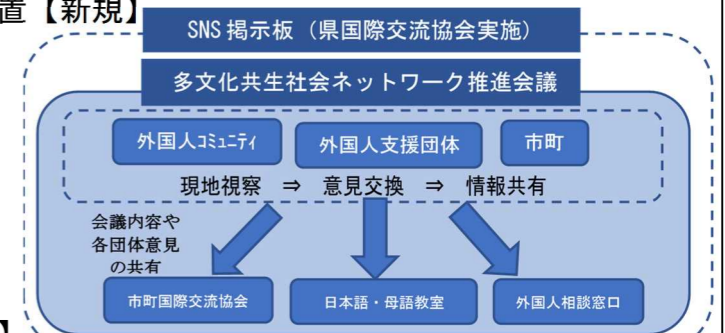
(1) 外国人住民の生活環境の充実

① 多文化共生社会ネットワーク推進会議の設置【新規】

多文化共生関係団体の交流を促進し、共有課題に対し密接に連携できる体制を構築

[テーマ例]

外国人労働者の地域活動参画、外国人児童・生徒のキャリアデザイン、多言語化への対応等



(2) 在住外国人と地域の相互理解の促進

① 外国人材の地域活動への参画の推進【新規】

外国人材が急増する地域において、市町、経済団体・企業関係者等が会する懇話会を開催し、外国人材の地域活動への参画を促進する地域ネットワークの形成について意見交換を実施

② JET青年と地域の交流促進【新規】

JET(語学指導等を行う外国青年招致事業)青年の地域への理解を深め、外国人の視点を踏まえた多様な地域振興を図るため、JET青年と地域活動者等との意見交換会等を実施